

平成 21 年度からの日本下水道事業団(JS)発注の機械設備工事関係の刊行物について

JS では、平成 20 年度より工事に係る基準類(指針、仕様書等)の再編を行ない、施工管理に関する基準類は一般仕様書の他、機械設備工事必携としてまとめています。

1. 機械設備一般仕様書(平成 21 年度版)

JS が発注するポンプ設備、送風機設備、水処理設備、汚泥処理設備、汚泥焼却設備、その他これに類する機械設備工事の施工に必要な事項を定めたもので、工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈・運用を図るとともにその他必要な事項を定めることにより、契約の適正な履行の確保を図るためのもので、平成 20 年度までの刊行物(機械設備工事必携)を整理・分離するとともに一部内容の見直しを行い、新規に制定したものです。

2. 機械設備標準仕様書(平成 21 年度版)

JS が発注する機械設備工事において、要求する機器を製作するうえでの必要な事項として、製作条件、各部の構造、使用材料、保護装置、運転操作概要、試験・検査、機器塗装、他工事との区分及び標準付属品等のうち、定型的な内容を示したもので、平成 20 年度までの刊行物に一部内容の見直しを行い、制定したものです。

3. 機械設備特記仕様書(平成 21 年度版)

JS が発注する機械設備工事の施工に必要な事項の中で、「一般仕様書」と「標準仕様書」の選択事項を当該工事ごとに指定する他、「一般仕様書」、「標準仕様書」が規定しない機器、材料あるいは特有な条件(環境対策要件を含む)を定めたもので、平成 20 年度までの刊行物に一部内容の見直しを行い、制定したものです。

4. 機械設備工事必携(平成 21 年度版)

JS が発注する機械設備工事を遂行する中で必要となる施工計画の立案、システム設計、機器製作、工場検査、品質・出来形管理、工事記録、写真撮影及び完成検査等に関する JS の基準・要領並びに各種提出書類等について、平成 20 年度までの刊行物を整理・統合するとともに一部内容の見直しを行い新規に制定したものです。なお、機械設備の場合、機器の種類、形式毎に構造、機構、形状、材質、他工事との取り合い等が異なり、その検査方法、据付け精度等も多種多様であり、工場検査や施工管理の記録様式も機器毎で単純な整理・統合は、内容の不明瞭化、頁数の増加を招き実用的でないことから、工事必携を次に示すような用途別に分冊化したものです。施工編は旧の工事必携から一般仕様書を分離したものです。

【平成 20 年度】

【平成 21 年度】

機械設備工事必携(一般仕様書含む)	→	機械設備工事必携	(施工編)
機械設備工場検査指針	→	同上	(工場検査編)
機械設備工事施工指針(本編)	→	同上	工事管理記録 (本編)
機械設備工事施工指針(施工管理記録編)	→	同上	// (施工管理記録編)
機械設備工事チェックシート	→	同上	// (施工チェックシート編)